

令和5年度 第一学童クラブ ぽーしゃな事業報告書

1. 学童クラブの運営

1) 定員 40名(1・4・5年生)

2) 月別入所児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・4・5年生	33	33	33	32	32	31	29	29	29	29	29	28	367

3) 職員数

令和5年度初 4名

令和5年度末 5名

4) 職員の採用、退職

① 採用

氏名	年月日	資格	備考
	R5.10.1	無	補助員

5) 職員会議の開催状況

- 職員会議は毎月一回開催し、日常の保育の様子や気づいた事・伝達事項・行事計画等について話し合い、評価、反省をし見直しを心掛けた。更に会議録を作成した。
- 毎日の伝達は口頭の申し送りや指導員連絡ノートを活用し、職員全員で情報を共有した。

6) 自己評価表 別紙

2. クラブの学童保育の実施状況

1) 指導目標

家庭との連携を図りつつ、放課後及び長期休暇期間における、児童の勉強及び遊びを通して、健全な育成を目指した。

2) 学童保育時間

平日	14:00(下校迎え時間)～19:00	(ルンビニ保育園下車の方は19:00まで)
土曜日	8:00～19:00	(ルンビニ保育園下車の方は19:00まで)
長期休暇期間	8:00～19:00	(ルンビニ保育園下車の方は19:00まで)
早朝	7:30～8:00	(ルンビニ保育園、事前申し込みが必要)
延長時間	19:00～21:00	(ルンビニにて)

3) 学童保育内容

- 毎日の宿題・家庭学習の指導を行い、勉強の習慣づけを心掛け、宿題を終わらせてからおやつを食べるように声掛けをした。
- 年間22回のECC英語教室と、年間10回のいむら体育教室を実施した。
- 「なかよし」通信を毎月発行、ホームページを随時更新し、児童の現状と学童の活動内容を保護者に周知した。
- 遊びや日々の生活を通して、集団生活に必要なルールを学び、安定した人間関係を作る事ができるように支援した。
- 送迎バス利用の際はシートベルトの着用徹底、乗車のルールを守るよう指導した。
- グラウンドやバスハイクで公園に出かけ、伸び伸びと体を動かして遊ぶことが出来た。
- 熱中症予防対策の為「健康カード」に朝食内容の記入欄を設け児童の健康状態を確認し、暑さ指数(WBGT)が28度を越えた場合は、屋外活動を控えた。
- 食育の一環として、さつま芋を栽培し、収穫の喜びを体験することができた。

4) 実施した主な行事 別紙

3. 給食等の実施状況

- 偏った献立にならないよう、川棚給食センターに依頼した。
- アレルギー体質の児童は、家庭との連絡を密にした。
- 衛生面からテーブルの消毒を行い、手洗いをした。

4. 健康管理

- 指導員全員の定期健康診断を、5月に実施した。
- 指導員全員の検便を月1回専門業者に依頼し「赤痢菌、サルモネラ菌、O-157」の検査を実施した。
- 子ども達の、帰着後の手洗い・消毒の指導をした。

5. 感染症等の対策

- 感染症予防のため、学習・給食・おやつ時はテーブルの間隔を空けた。
- 玩具・テーブル・椅子・手すり等を、定期的にクロール水で消毒した。
- 児童が施設内に入る前や、バスに乗車する際に手指の消毒を行い降車後は車内を消毒した。
- 室内では常時換気をし、超音波噴霧器、ストリーマー空気清浄機を使用した。
- 児童の「健康カード」を作成し、受け入れ時、昼食前、バス乗車前に検温を行い健康状態の把握に努めた。
- 体調不良の児童は、保護者に連絡して早めのお迎えをお願いした。

6. 非常災害危険防止の実施状況

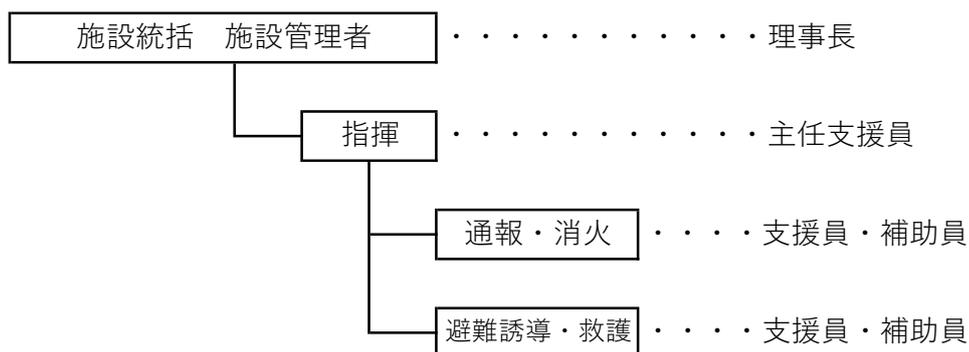
○年に8回、避難訓練を実施。11月に全職員参加の消火訓練を行った。

○隣接する保育園の避難訓練にも参加し、非常階段を使った避難の仕方、又

お	おさない。
か	かけない。
し	しゃべらない。
も	もどらない。

の避難訓練の基本を学び、回を重ねるごとに迅速に行動できるようになったが、私語が多く真剣に取り組めない時もあった為、避難訓練の大切さを伝えた。

○非常災害に対する職員配置（第一・第二 合同）



7. 子どもや保護者等からの要望・苦情等

○棚に悪口を落書きされて嫌な思いをした。

対応・・・全児童に、落書きをするほど嫌な思いをしたのならまず支援員に相談に来るように話をした。その後、落書きはなくなった。

○障がい児の保護者から、てんかんの発作があるので、様子観察をしてほしいと相談があった。

対応・・・いつもと違う様子の方は速やかに保護者に電話連絡し、連携を図った。

学校の担任の先生とも連絡を密にし、児童の一日の様子を把握するように努めた。

年間行事実績	
月	行事名
令和5年4月	・歓迎会 24人 ・外遊び 25人、23人 ・鯛の浦公園 17人 ・お誕生会 17人 ・巡回図書はまゆう号 29人 ・ECC英語教室 17人 ・避難訓練 17人 ・こいのぼり工作 17人
令和5年5月	・いむら体育教室 21人 ・メッセージカード作成 20人 ・巡回図書はまゆう号 23人 ・お誕生会 13人 ・ECC英語教室 8人、15人 ・芋さし 20人
令和5年6月	・ECC英語教室 15人、15人 ・芋さし 18人 ・いむら体育教室 22人 ・巡回図書はまゆう号 22人 ・散歩 5人 ・お誕生会 17人
令和5年7月	・いむら体育教室 16人 ・ECC英語教室 15人、18人 ・巡回図書はまゆう号 26人 ・お誕生会 21人 ・避難訓練 11人 ・福祉プラザ見学 6人
令和5年8月	・プラネタリウム見学 23人 ・ECC英語教室 18人、12人 ・スライム作り 14人 ・ジャパネットホールディングス見学 5人 ・お誕生会 16人 ・避難訓練 24人 ・アレンジおやつ 17人 ・駄菓子屋さんごっこ 23人
令和5年9月	・ECC英語教室 15人、14人 ・巡回図書はまゆう号 25人 ・スライム作り 18人 ・いむら体育教室 14人 ・お誕生会 18人
令和5年10月	・巡回図書はまゆう号 21人 ・外遊び(散歩) 4人 ・お誕生会 23人 ・ECC英語教室 14人、17人 ・グラウンド遊び 3人 ・芋ほり 23人 ・避難訓練 22人 ・避難訓練(地震) 16人 ・いむら体育教室 16人
令和5年11月	・巡回図書はまゆう号 19人 ・秋の遠足 16人 ・ECC英語教室 18人、11人 ・いむら体育教室 17人 ・お誕生会 17人 ・グラウンド遊び 10人
令和5年12月	・グラウンド遊び 13人、11人、15人 ・ECC英語教室 18人 ・いむら体育教室 15人 ・お誕生会 15人 ・クリスマス工作 11人、7人 ・お楽しみ会 24人 ・巡回図書はまゆう号 23人
令和6年1月	・グラウンド遊び 17人 ・ECC英語教室 17人、13人 ・お誕生会 13人 ・いむら体育教室 14人
令和6年2月	・節分ごっこ 19人 ・グラウンド遊び 5人 ・いむら体育教室 16人 ・お誕生会 14人 ・不審者訓練 14人 ・ECC英語教室 9人 ・避難訓練 10人
令和6年3月	・いむら体育教室 17人 ・ひな祭り工作 14人 ・グラウンド 15人、15人、21人、10人 ・避難訓練 20人 ・ECC英語教室 19人、12人、12人 ・お別れ会 20人

令和5年度 学童クラブ ぽーしゃな 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	評価理由、今後の改善目標など
環境・体制整備	1	利用定員が施設スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対する施設基準は満たしているが、少し狭く感じることもある。もう少し広いスペースがあれば、子どもたちが活動しやすいのではと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			規定の職員数を配置している。
	3	施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	車椅子や、松葉杖に対応するのが難しい。主な活動は二階で行うことから、長期的に見て改善(バリアフリー化)が必要ではと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるため目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			職員会議にてPDCAサイクルにのっとり全職員で進めている。
	5	保護者等向けアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートは行っていないが、保護者からの要望は、その都度対応し、改善できるように努力している。無記名でアンケートの実施で、より改善につながるのではないかと考えている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評議結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていない。職員会議等で業務改善について定期的に意見を出し合っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			順次研修を受けている。研修は、できるだけ受けるようにしている。
適切な支援の提供	9	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、学童クラブの計画を作成しているか		○		その都度、必要に応じて出来る範囲で対応している。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		細やかな課題や目標の設定は行っていないが、日程・行事の変更はその都度声掛けし、自由参加型のレクリエーションを増やした。
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて学童クラブの計画を作成しているか		○		子どもの状況に応じ、集団活動に支援が必要な児童には、個別に対応している。
	12	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		職員全員での打ち合わせは行っていないが、連絡ノートや日誌を活用して支援内容の確認や、分担がわかるようにしている。
	13	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		問題があった場合、その都度職員間で打ち合わせをし、改善点などの確認を行っている。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		日誌、伝達ノートに記録し、支援内容や問題点の改善に勉めている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	評価理由、今後の改善目標など
関係機関や保護者との連携	15	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○			下校時間・学校行事等をFAXしてもらっている。学校からの連絡が遅れる事もあるので必要に応じて確認を行っている。特に障がいを持った児童は、学校との情報共有を密にした。
	16	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		系列の保育園と情報共有を図り、よりよい支援につなげている。
	17	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	発達障がいの研修は受講しているが専門機関との連携はない。グレーゾーンの児童が多いので、必要に応じて関係機関に助言してもらう事は必要ではないかと思う。
	18	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか		○		お迎え時等に保護者と共通理解を図っているが、保護者対応の経験が浅い職員もいるので、職員会議等で共通理解を持てるようにしている。
保護者への説明責任等	19	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			支援内容や利用者負担については重要事項説明書に記載し、説明会を開催している。入所希望者には、その都度重要事項の説明を行っている。
	20	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		お迎え時等に必要に応じて行っている。もっと相談しやすい環境を整えていく必要があり、安心して相談できるようにしていきたい。
	21	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情については、速やかに対応している。
	22	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「なかよし」を毎月発行、ホームページを随時更新し、学童の活動内容、苦情・要望の内容と対応を周知している。
	23	個人情報に十分注意しているか	○			針尾福祉会の個人情報保護の規定を守っている。
	24	学童クラブの行事に地域住民を招待する等地域に開かれた運営を図っているか			○	感染症対策の為、交流は図っていなかったが、今後は地域の方との交流の場を作り理解と協力を求めていければと思っている。
非常時等の対応	25	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員には周知出来ているが、全てのマニュアルは保護者に通知していない。特に重要な災害・緊急時の対応は重要事項説明書に記載し、周知している。
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年回間8回の、避難訓練を実施した。児童が真剣に訓練に参加出来ていないので防災意識を高めていきたい。通報訓練で、所在地の住所を言えない職員もいた為、電話の近くに住所を貼るなどの対応をしている。11月に全職員参加の消火訓練を実施した。
	27	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		今年度、虐待防止の研修は受講していない、毎月の職員会議等で適切な対応が出来ているのかを話し合っている。問題点が浮上した場合は、その都度対応している。
	28	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書に基づき、保護者から情報提供してもらっている。アレルギーのある児童には、弁当を持参してもらったり、おやつも個別に梱包して対応している。
	29	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例集は作成していないが、伝達ノートや職員会議で情報の共有に努めている。